

## 平成 30 年度 長野県下伊那農業高等学校 学校評価表(年度末評価)

| 学校教育目標                                | 中・長期的目標   |  |    |
|---------------------------------------|---|--|----|
|                                       | 1 農業や関連産業の持続可能な発展及び地域社会・文化の担い手として貢献できる人材を育成する。<br>2 農業の持つ教育力を最大限に活用し、知・徳・体の調和のとれた人格を形成する。 |  |    |
|                                       | 重点目標  | 評価(記述)   | 評価 |
| 一 質実・剛健<br><br>一 誠実・堪能<br><br>一 積極・真摯 | 1 地域とともに歩む学校づくり   | 今年度も就職者の約 89%が地元就職するなど、地域に根ざし、地域の農業・産業を担う社会人を育成する本校の使命・伝統を踏まえた教育活動を実践することができた。今後とも高校在学中に地元(企業・食・文化等)の素晴らしさを実感させ、県外の大学・専門学校等へ進学する生徒のUターンへの働きかけに一層努めたい。  | A  |
|                                       | 2 学校生活を支える環境づくり   | 関係の係が中心となって学校をまとめ、職員と生徒が連携・協働し、週番活動(朝清掃、生徒会からの連絡等)・挨拶運動や校舎内の見回り等を実施する中で、いじめや暴力、非違行為のない、生徒一人ひとりが安心して学校生活を送れる居場所づくりに取り組み、概ね実現できた。引続き教育相談や特別支援体制の充実、SC等の外部との連携強化を図りながら、心の支援を含めて、安全・安心な学校生活を支える環境づくりを充実させたい。   | B  |
|                                       | 3 自己指導能力を高める心づくり  | 日常の生徒指導や学習指導をとおして、基本的な生活習慣の確立に努め、規範意識や人権意識を醸成するとともに、様々な地域連携や講師招へい授業、インターンシップ、農場実習や生徒会・クラブ活動等を通して、社会性や人間性を育成している。生徒及び保護者アンケートへのからは、本校で成長できたと感じている生徒が約 82%、本校へ子どもが入学して良かったと感じている保護者が約 91%となった。今後とも自制心や自律心、自己肯定感や自己効力感を育み、自立できるような心の成長を促したい。            | B  |
|                                       | 4 新たな学びに転換する授業づくり   | ICT機器の導入を機に、デジタル教科書等を前倒しで購入し、座学での電子黒板活用率は 77%、協働学習でのタブレット活用率は 32%となり、初年度としての目標を達成し、生徒にとってより分かりやすい授業、主体的に学ぶ授業への転換を図り、その結果生徒の授業満足度は 91%に達している。また、教員研修にも昨年度より 3 倍以上参加し、その成果を授業へ還元することができた。今後とも真摯に生徒の声に耳を傾け、「新たな学び」に対応した授業への転換を促進させるため、職員研修の充実も図りたい。     | A  |
|                                       | 5 夢に挑戦する人づくり  | 学年ごとに段階的な進路指導計画を進め、早期から進路の意識付けを行うとともに、職場体験や進学先ガイダンス、地域連携学習等により、具体的な職業観や勤労観の醸成、地域理解を含めてキャリア形成を促している。生徒アンケートでは「学校は進路情報をよく知らせ、進路指導をしてくれる」が約 79%、保護者は「学校は子どもの進路目標達成のために努力をしている」が約 81%であり、概ね進路や夢の実現に向けた支援ができていると考える。今後とも、生徒・保護者の意見・要望を踏まえながらキャリア教育を推進したい。 | A  |

&lt;A:達成できた B:概ね達成できた C:不十分であった&gt;

平成 30 年度 長野県下伊那農業高等学校 学校評価表 まとめ

| 評価項目                     | 評価の観点   | 評価   |
|--------------------------|---|--|
| 農業教育を充実させるための取り組み        | <ul style="list-style-type: none"> <li>農業の必要性や素晴らしさを生徒に伝えることができたか。</li> <li>「グローバル・アグリハイスクール宣言」や「長野県における新たな農業教育の方向性について(提言)」を実現するために、新たな教育実践ができたか。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>農業学習をととして地域連携や食育交流が盛んに実施され、報道機関等で取り上げられる機会も多かった。また、こうした実践が生徒の自信となるとともに、地域農業に対する理解や農業への興味関心も一層高まったと思われる。</li> <li>人が生きる上で最も大切な「食」を支える農業、自然環境を支える農業について授業やHRで生徒に考えさせることができた。</li> <li>農業教育において新たな取り組みとして、GAP（農業生産工程管理）について職員の校内研修を複数回行い、生産管理に関する意識の向上に努め、今まで以上に生産物の安全確保、環境保全、作業時の安全等を意識した教育実践をすることができた。</li> </ul>  |
| 資格取得を充実するための取り組み         | <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒が資格取得に興味関心を示し、生徒一人ひとりが二種類以上の資格取得に取り組むことができるように指導することができたか。</li> <li>講習会や長期休業中の補習を充実させ、合格率8割を目指すと共に、生徒にとって満足いく成果が得られたか。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>今年度も、生徒が積極的に資格試験に挑戦できる環境づくりや時間外での指導等を継続して行った。その結果、新たな資格にも挑戦するなどし、現時点において資格等の取得者数は前年度と同レベルで、生徒1人当たり約1.4の資格を取得することができた。次年度も継続して指導を行い、卒業するまでに生徒一人当たり二種類以上の資格取得をめざす。</li> <li>合格率は資格により異なるが、毒物劇物取扱者試験など難しい資格にも積極的に受験し、成果をあげる生徒が多く見られた。その結果、全国農業高等学校長協会が認定するアグリマイスター顕彰制度において、認証人数は県内トップであり、全国でも上位に位置し、優良校表彰をいただくことができた。</li> </ul>   |
| 学習意欲を向上させるための取り組み        | <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の学習意欲を向上させるため、校外実習や外部講師による授業など、授業内容を工夫し実践することができたか。</li> <li>生徒にとって分かりやすい授業を実践することができたか。</li> <li>また、理解できない生徒に対して事後指導がしっかりできたか。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>専門科目では外部講師の活用や校外実習などを積極的に取り入れた授業を行うことができた。</li> <li>ICT機器整備事業及びRESAS活用事業により、すべてのHR教室等にプロジェクター等ICT機器が整備され、多くの授業で活用され、教育の情報化が推進された。</li> <li>「生徒による授業評価」において、「わかりやすい授業か」の質問に、90.4%が「ふつう」以上と回答した。この評価をさらに向上させるべく、ICT機器等の利活用の推進や互いの授業見学などを行い、より分かりやすい授業への改善を進めていきたい。</li> </ul>   |
| 進路希望を実現させるための取り組み        | <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の実態に合った計画的指導ができたか。</li> <li>進路が多様化する生徒に対し情報提供が十分かつ的確にできたか。</li> <li>進学希望者に対する指導・補習が十分できたか。</li> <li>生徒が希望する進路を実現することができたか。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>進路実現を目前にした3年生だけでなく、1・2年生に対しても計画的に進路ガイダンスを行い、3年間を見通した指導を行うことができた。</li> <li>今年度新たに「進路だより」の発行や、保護者懇談会用の資料を作成するなど、ポイントとなる情報を提供することができた。</li> <li>今年度は国公立大学希望者が多く、指導の分担や進路指導部としての関わり方に課題は残ったものの、各教科・学科の協力のもとで丁寧な個別指導を行った結果、4名の合格者を出すことができ、県内農業高校ではトップの実績であった。</li> <li>概ね希望する進路を実現することができたが、第一志望が叶わなかった生徒もおり、早い時期からの進路指導の必要性を感じた。</li> </ul>   |
| 地域を理解し、地域との連携を深めるための取り組み | <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒が意欲的に参加し、活動した取り組みであったか。</li> <li>地域の文化を取り入れた内容の活動を行い、地域文化を理解させることができたか。</li> <li>実施した取り組みが、相手や地域の理解と評価を得られたか。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>今年度も地域からの依頼を受け、インターアクトクラブを中心にボランティア活動に参加することがかなり多かった。</li> <li>食品科学班、アグリ研究班、果樹班を中心に、多くの地域イベントに参加して普段の学習成果を地域のみなさんに紹介し、農業のもつ多様な魅力を多くの方々に知っていただくことができたと思われる。</li> <li>複数の大学が参加して南信州をフィールドスタディとする飯田市主催学輪IIDAに参加し、大学生や地元の企業の方々との意見交換を行い、地域の様々な課題の解決に向けて多角的な観点から学ぶことができた。</li> <li>地域の保育園児とイネの栽培を通して交流を行い、その活動が認められ「高校生こどもベジコン」で大賞受賞となった。</li> </ul>   |
| 基本的生活習慣を確立するための取り組み      | <ul style="list-style-type: none"> <li>「身だしなみ」をきちんとする指導の実践ができたか。</li> <li>問題行動を未然に防ぐ予防的指導ができたか。</li> <li>集会の時は迅速に集合・整列し、整然とした集会を実施することができたか。</li> <li>気持ちよい挨拶を習慣づけることができたか。</li> <li>校内外の清掃活動を通して、ゴミの分別を徹底させ、リサイクルの必要性について認識させることができたか。</li> <li>時間のけじめをつけさせ、休み時間の有効活用によるスムーズな授業開始や遅刻をなくす指導ができたか。</li> <li>いじめを許さない学校作りを進め、生徒が発する小さなサインを見逃すことのない指導ができたか。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>例年同様、始業式、試験期間中などで検査を実施した。昨年度より指導件数は減少しており、生徒の意識は向上していると思われる。しかし、検査時のみ服装を整える生徒や、上級生から譲り受けたブレザーやスカートを加工して着用する生徒も若干名見られた。今後もきちんとした制服を着用することの重要性を伝え、指導の継続を図っていく。</li> <li>ホームルームや全校集会での呼びかけ、全職員による校内外の巡回指導等を実施した。その結果「反省指導」は少ない件数で推移しており、生徒も落ち着いている。さらに、「現金盗難」は0件で、落ちていた財布を拾い届け出るケースが複数あり、心優しい道徳意識の高い生徒も見られた。次年度も引き続き問題行動を未然に防止する対策に取り組んでいく。</li> <li>名簿番号順に整列することや列を整えることなど課題は残ったが、概ね整然と整列し集会を行うことができた。</li> <li>生活委員中心に挨拶運動を実施し、挨拶に対する意識の高揚を本年度も行った。しかし、以前に比べると挨拶が不十分な生徒も見られた。社会に出て活躍できる人材を育成するためにも、引き続き挨拶運動を全校で取り組んでいく必要があると考える。</li> <li>清掃は多くの生徒が自主的に取り組んでいる。ゴミの分別、資源のリサイクルについても、ほとんどの生徒が必要性を認識して実行している。しかし、生徒アンケートでは清掃活動が不十分と認識している生徒が多くいることから、さらに清掃の徹底を呼び掛け、校内美化に努めていく。</li> <li>多くの生徒は授業開始時刻に対する意識を明確に持ち行動できるが、朝のSHRに遅刻してくる生徒がまだ若干見られる。社会で信頼される人材に育てていくため、今後も継続して指導を徹底していきたい。</li> <li>「いじめ防止等の基本的な方針」に沿って対応できている。人間関係の小さなトラブルにおいても「いじめの背景」が見られないか注意深く観察・指導を行い、解決に導いてきた。残念ながら、双方の思いが食い違い解決できない事案も発生してしまった。いじめ対策委員会を中心に、慎重かつ丁寧に指導を継続していく。</li> </ul> |
| 課外活動を充実するための取り組み         | <ul style="list-style-type: none"> <li>多くの生徒が課外活動に積極的に参加し、活動することができたか。</li> <li>個々の生徒が目標とする成果をあげることができたか。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>多くの班活動で県大会に進出するなど大きな成果が見られた。特に果樹班のプロジェクト発表は、2年連続で農業クラブ全国大会出場を果たした。また、今年度はアグリ研究班畜産部のプロジェクト発表も全国大会に出場し、プロジェクト発表において2つの部門で全国大会出場を果たしたのは開校以来のことである。</li> <li>クラブ活動を通して、生徒が目標を持って学校生活に臨めるようさらに環境を整えていく必要がある。</li> </ul>  |
| 安全教育を推進するための取り組み         | <ul style="list-style-type: none"> <li>安全教育に対する研修の機会を設け、それに参加することができたか。</li> <li>あらゆる場面で、生徒の安全を意識した教育活動を実践することができたか。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>交通安全講話の開催、HRでの交通マナーへの呼びかけ、二輪車協会によるバイク点検、飯田自動車教習所にてバイクの安全運転講習の実施等を行った。しかし、残念ながら事故件数をゼロにはできず、今後も交通マナーに対する呼びかけを継続していく必要がある。</li> </ul>   |

## 平成30年度 生徒アンケートまとめ

下伊那農業高等学校

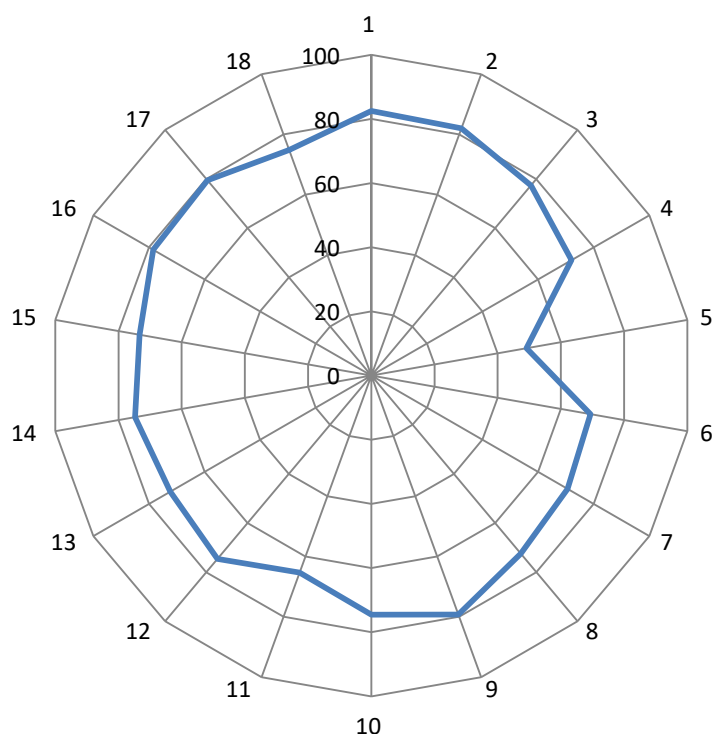
以下の質問にA～Dの4段階で評価し、該当する箇所には○印をしてください。 回収率:87.2%

A:あてはまる B:だいたいあてはまる C:あまりあてはまらない D:あてはまらない

H30.12月実施

| No. | 質 問 項 目                        | A   | B   | C   | D   | 指標   |
|-----|--------------------------------|-----|-----|-----|-----|------|
| 1   | 学校生活は全般に楽しい                    | 187 | 180 | 38  | 12  | 82.5 |
| 2   | 下農で成長でき、入学して良かった               | 184 | 181 | 38  | 14  | 82.1 |
| 3   | 自分の興味関心や進路選択に対応した、選択科目がある      | 140 | 197 | 60  | 20  | 77.4 |
| 4   | 年間授業計画について説明されている              | 92  | 205 | 97  | 22  | 72.1 |
| 5   | 予習・復習など、家庭学習をよくしている            | 31  | 69  | 171 | 146 | 49.1 |
| 6   | 授業は分かりやすく充実したものが多い             | 54  | 227 | 122 | 13  | 69.4 |
| 7   | 教材や考え方に、様々な工夫をしている先生が多い        | 72  | 219 | 107 | 19  | 70.6 |
| 8   | 目標とした資格を取得することができた             | 122 | 172 | 80  | 42  | 72.5 |
| 9   | 服装・挨拶・マナーなど、学校生活の指導が十分なされている   | 158 | 186 | 54  | 17  | 79.2 |
| 10  | 学校の規則など、生徒指導の方針や内容を理解している      | 108 | 213 | 72  | 22  | 74.5 |
| 11  | 校舎内の清掃・美化がゆきとどいている             | 57  | 186 | 129 | 45  | 65.3 |
| 12  | 先生は、自分たちの悩みや相談に親身になって対応してくれる   | 127 | 187 | 71  | 32  | 74.5 |
| 13  | いじめを許さない学校づくりが進められている          | 103 | 194 | 91  | 28  | 72.4 |
| 14  | 学校行事(稲丘祭・クラスマッチ・強歩大会など)が充実している | 139 | 169 | 75  | 34  | 74.8 |
| 15  | 生徒会活動が活発で、関心が持てる               | 112 | 190 | 90  | 25  | 73.3 |
| 16  | クラブ活動が充実している                   | 168 | 164 | 58  | 26  | 78.5 |
| 17  | 学校は進路情報をよく知らせ、進路指導をしてくれる       | 138 | 218 | 51  | 7   | 79.4 |
| 18  | 学校からの配布物を、保護者に見せている            | 147 | 155 | 78  | 36  | 74.8 |

指標70未満は黄色表示



| 回答数 | a人                     | b人 | c人 | d人 |
|-----|------------------------|----|----|----|
| 人数  | a+b+c+d=n              |    |    |    |
| 指標  | 4点                     | 3点 | 2点 | 1点 |
|     | $25*(4*a+3*b+2*c+d)/n$ |    |    |    |

## H30年度 保護者アンケートまとめ

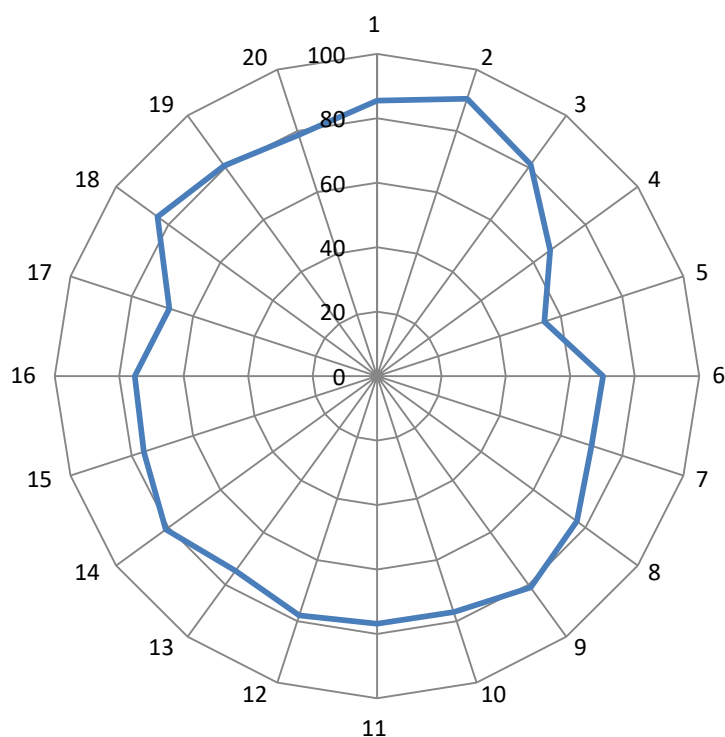
下伊那農業高等学校

以下の質問にA～Dの4段階で評価し、該当する箇所に○印をしてください。 回収率:87.2%

A:あてはまる B:だいたいあてはまる C:あまりあてはまらない D:あてはまらない

H30.12月実施

| No. | 質 問 項 目                        | A   | B   | C   | D  |      |
|-----|--------------------------------|-----|-----|-----|----|------|
| 1   | 子どもは学校生活が楽しいといっている             | 187 | 117 | 21  | 12 | 85.5 |
| 2   | 子どもが下農に入学して良かったと思っている          | 229 | 92  | 12  | 4  | 90.5 |
| 3   | 進路選択に対応した選択科目が用意されている          | 118 | 174 | 30  | 4  | 81.1 |
| 4   | 年間授業計画の概要を子どもから聞き、理解している       | 45  | 148 | 126 | 17 | 66.4 |
| 5   | 子どもは、予習・復習など家庭学習をしている          | 26  | 88  | 145 | 78 | 54.6 |
| 6   | 分かりやすく充実した授業が多いと聞いている          | 44  | 194 | 76  | 16 | 70.2 |
| 7   | 教材や考え方に、様々な工夫をしている先生が多いと聞いている  | 45  | 185 | 86  | 12 | 70.0 |
| 8   | 子どもは、目標とした資格を取得することができている      | 106 | 156 | 52  | 16 | 76.7 |
| 9   | 服装・挨拶・マナーなど、日常生活の指導に力を入れている    | 120 | 179 | 32  | 3  | 81.1 |
| 10  | 学校の生徒指導方針を理解している               | 104 | 165 | 57  | 10 | 77.0 |
| 11  | 学校を訪れた際、校舎内の清掃・美化がゆきとどいていると感じる | 83  | 204 | 40  | 9  | 76.9 |
| 12  | 先生は、子どもの悩みや相談に親身になって対応してくれている  | 109 | 171 | 38  | 15 | 78.1 |
| 13  | いじめを許さない学校づくりが進められている          | 71  | 195 | 55  | 10 | 74.7 |
| 14  | 学校は、子どもの進路目標達成のために努力をしている      | 125 | 169 | 35  | 5  | 81.0 |
| 15  | 学校は、保護者とのコミュニケーションを大切にしている     | 95  | 171 | 55  | 13 | 76.0 |
| 16  | 学校の教育活動の情報が、家庭や地域に伝わり理解している    | 82  | 183 | 60  | 10 | 75.1 |
| 17  | 学校の施設・設備は整備されている               | 49  | 166 | 89  | 28 | 67.8 |
| 18  | 学校行事(稲丘祭・クラスマッチ・強歩大会など)が充実している | 147 | 168 | 20  | 2  | 84.1 |
| 19  | 生徒会活動やクラブ活動が活発である              | 122 | 177 | 31  | 7  | 80.7 |
| 20  | PTA活動のあり方は適切である                | 79  | 228 | 20  | 5  | 78.7 |



|     |                        |    |    |    |
|-----|------------------------|----|----|----|
| 回答数 | a人                     | b人 | c人 | d人 |
| 人数  | a+b+c+d=n              |    |    |    |
| 指標  | 4点                     | 3点 | 2点 | 1点 |
|     | $25*(4*a+3*b+2*c+d)/n$ |    |    |    |

## 平成30年度 生徒による授業評価のまとめ

授業評価については、今後の授業改善に役立てることを目的として、1学期（7月）と3学期（1，2年生：2月、3年生：1月）に全校生徒によるすべての授業に対して評価を実施した。

### 1 授業評価について

自己評価も含め、以下の3つの質問について5段階で評価

#### (1) 質問事項

質問1 自分は授業中に集中して先生の話聞き、学習に取り組んでいますか？

質問2 授業の進捗や難易度は、自分にとって適切ですか？

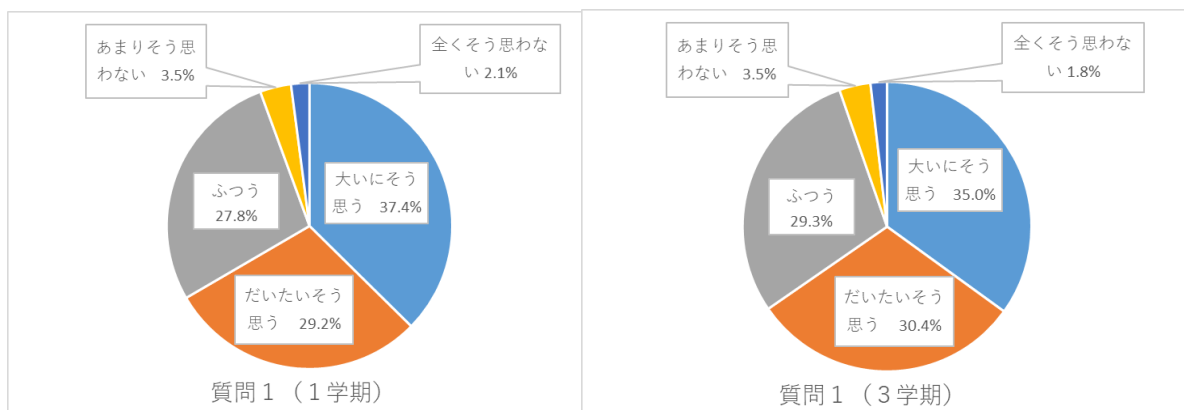
質問3 先生は興味・関心を高め、わかりやすい授業をしていますか？

#### (2) 評価基準

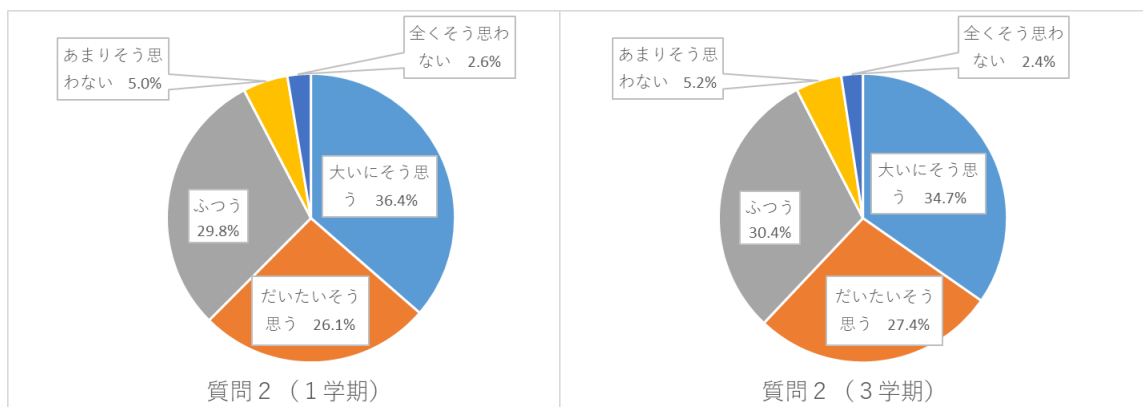
- ①大いにそう思う
- ②だいたいそう思う
- ③ふつう
- ④あまりそう思わない
- ⑤まったくそう思わない

### 2 評価結果について

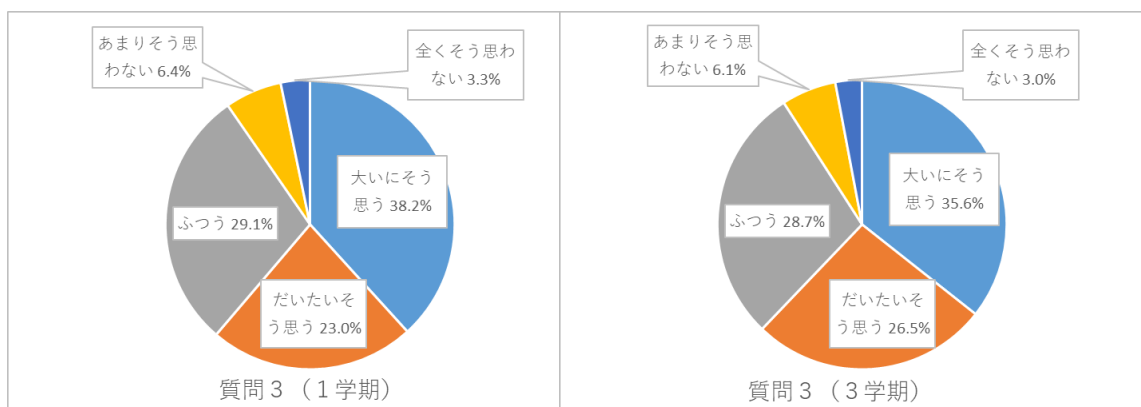
(1) 質問1の「生徒自身の授業態度」については、「ふつう」以上と回答したのは1学期 94.4%、3学期 94.7%で、改善が必要と回答した生徒は0.3%減少したのみであった。



(2) 質問2の「授業の進度や難易度」については、「ふつう」以上と回答したのは1学期 92.3%、3学期 92.4%で、改善が必要と回答した生徒は0.1%減少したのみで、3学期になってもほぼ同数の生徒が改善を求めていることが分かった。



(3) 質問3の「わかりやすい授業か」については、「ふつう」以上と回答したのは1学期 90.4%、3学期 90.9%で、改善が必要と回答した生徒は0.5%減少して9.1%となった。



### 3 今後について

今後ともICT機器の利活用についてさらなる研修を深め、「新たな学び」としての「探究的な学び」への転換を図るべく、今後も生徒が主体的かつ協働的に学習に取り組むような内容も取り入れ、より一層興味・関心を持てるような授業を展開できるように改善を図る。次年度については7月と12月に授業評価を実施し、改善の取り組みについて検証を行い、生徒を育ててくださった地域や社会の持続的な発展を担う職業人の育成につながる「主体的・対話的で深い学び」の実現をめざしていく。

## 平成 30 年度 学校関係者（学校評議員）による学校評価のまとめ

5：そう思う　4：どちらかというと思う　3：どちらとも言えない・わからない  
2：どちらかというとは思わない　1：そうは思わない

| 項目   | 内 容   | 評 価 |     |     |   |   |
|--|---|-----|-----|-----|---|---|
|  |   | 5   | 4   | 3   | 2 | 1 |
| 1  | 全ての教科において、分かりやすい授業を実践するとともに、食料・環境・食育等に関する農業学習を通して、学習意欲の向上に努め、生徒の可能性を広げる教育を実践している。 | 71% | 29% |     |   |   |
| 2  | 専門性を生かした生徒の進路実現に向け、キャリア教育に対する積極的な取組みを行っている。                                       | 71% | 29% |     |   |   |
| 3  | 地域連携、地域貢献、地域文化の継承等に積極的に取り組み、地域から信頼される開かれた学校づくりに努めている。                             | 71% | 29% |     |   |   |
| 4  | 生徒の問題行動・いじめ等の未然防止に努めるとともに、基本的な生活習慣を確立するため、規律ある生活態度の育成、身だしなみ指導等に努めている。             | 43% | 57% |     |   |   |
| 5  | 資格取得に積極的に取り組んでいる。   | 71% | 29% |     |   |   |
| 6  | 班活動等の課外活動に積極的に取り組んでいる。  | 57% | 43% |     |   |   |
| 7  | 交通安全教室等、生徒に対する安全教育を重視した教育を実践している。   | 43% | 43% | 14% |   |   |
| 8  | 国際交流の実践等、生徒の国際的な視野を広めるため、国際理解教育に積極的に取り組んでいる。                                      | 43% | 43% | 14% |   |   |
| 9  | 学校評議員制度やPTA活動等を有効に活用し、地域社会及び保護者の意見や要望を日常の教育改善に生かそうと努めている。                         | 43% | 57% |     |   |   |
| 10   | 教職員は教育活動について適切な自己評価を行っている。  | 43% | 43% | 14% |   |   |
| <p>&lt;意見等&gt;</p> <p>○ 下農生の活躍は目を見張るものがあります。今後、高校再編といった大変難しい課題がありますが、関係者皆さんでしっかりと話し合い、よい結果になるように願っています。</p> <p>○ 日々の教育活動に熱心に取り組んでおられることがよくわかります。これからもますます地域の関連産業と連携し、発展していかれることを期待しています。</p> |   |     |     |     |   |   |

## 平成 30 年度 学校関係者（P T A 代議員）による学校評価のまとめ

5：そう思う　　4：どちらかというと思う　　3：どちらとも言えない・わからない  
2：どちらかというとは思わない　　1：そうは思わない

| 項目  | 内 容   | 評 価 |     |     |    |    |
|---|---|-----|-----|-----|----|----|
|   |   | 5   | 4   | 3   | 2  | 1  |
| 1   | 全ての教科において、分かりやすい授業を実践するとともに、食料・環境・食育等に関する農業学習を通して、学習意欲の向上に努め、生徒の可能性を広げる教育を実践している。 | 44% | 50% | 6%  |    |    |
| 2   | 専門性を生かした生徒の進路実現に向け、キャリア教育に対する積極的な取組みを行っている。                                       | 49% | 45% | 6%  |    |    |
| 3   | 地域連携、地域貢献、地域文化の継承等に積極的に取り組み、地域から信頼される開かれた学校づくりに努めている。                             | 59% | 45% | 6%  |    |    |
| 4   | 生徒の問題行動・いじめ等の未然防止に努めるとともに、基本的な生活習慣を確立するため、規律ある生活態度の育成、身だしなみ指導等に努めている。             | 41% | 53% | 3%  | 3% |    |
| 5   | 資格取得に積極的に取り組んでいる。   | 71% | 23% | 6%  |    |    |
| 6   | 班活動等の課外活動に積極的に取り組んでいる。  | 62% | 38% |     |    |    |
| 7   | 交通安全教室等、生徒に対する安全教育を重視した教育を実践している。   | 35% | 53% | 12% |    |    |
| 8   | 国際交流の実践等、生徒の国際的な視野を広めるため、国際理解教育に積極的に取り組んでいる。                                      | 27% | 29% | 41% |    | 3% |
| 9   | 学校評議員制度やP T A活動等を有効に活用し、地域社会及び保護者の意見や要望を日常の教育改善に生かそうと努めている。                       | 32% | 56% | 12% |    |    |
| 10  | 教職員は教育活動について適切な自己評価を行っている。  | 42% | 42% | 16% |    |    |
| <p>&lt;意見等&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 農業関係だけでなく、もっと多くの資格取得に取り組んでほしい。</li> <li>○ しっかりと頼れる進路指導を望む。</li> </ul> |   |     |     |     |    |    |